

「防災避難所体験」

岡山県 倉敷市立第二福田小学校 5年 ^{かわた りんや}河田 倫弥

ぼくは、4年生の春ごろに防災避難所体験に参加しました。誰の付き添いもなく、一人での参加です。学区外の小学校の体育館を避難所と見立てて、避難所に泊まる体験です。

どんなことをするのだろうと考えていると少し不安な気持ちがかわいてきて、ドキドキしてきました。

お風呂はどうするのだろうか、ご飯は食べられるだろうかと益々不安になってきました。

避難所の体育館の入り口で受付をすませると、まずは、消防士さんから災害（東日本大震災）について話を聞きました。テレビで見たり聞いたりしたニュースより、とても詳しくて勉強になりました。災害は、ある日突然やってくる。本当にそう思いました。

ふと、外を見ると日も暮れかけていました。

「おなかすいたな。」

とっていると、食事の合図がありました。

災害用のお米を炊いて、災害用のカレーが今晚の夕食です。おなかがかすいていたから、おいしかったけど、冷たいカレーは続けて食べにくいなあと思いました。

「あっ。」

同じ小学校に通う同級生にあいました。友達も参加していたと思うと、本当に災害が身近で起きて、避難所で友達に会うのだろうなあと思いました。

そろそろ寝る時間。ダンボールで寝床を作ることになりました。友達と一緒にいろいろ工夫して、ダンボールを切ったり、ガムテープではったりしました。ちょっとした秘密基地みたいに出来上がったのでうれしくてしばらく、ダンボールの秘密基地で遊びました。

気が付くと、消灯時間。体育館の照明が消され、うす暗くなりました。自分で作ったダンボールの寝床に横になると、布団も何もないので体がすぐに痛くなりました。

「本当に災害にあったらどうなるのだろう。毎日の食事や、お風呂は？小学校には行けないのかな。」

そんなことを考えていると、とても心細くなってきて、その夜はほとんど眠れませんでした。

避難所体験が終わって、普段の生活に戻ると、災害について考えたりすることもなくなっていました。

それから、しばらくしてぼくの住む岡山県でたくさんの雨が降りました。ぼくの周りでは近くの川があふれそうになっていて、少し怖かったのを覚えています。同じころ、広島県安佐南区で土砂崩れが起きて大勢の人が被害にあったことを知りました。一瞬にして土砂崩れが起き、大勢の人が亡なったことを知った時、防災訓練のことを思い出しました。自分の身を守るためにできることは何かと考えようと思いました。

「まさか自分が災害にあうなんて。」

とっているのは、大きな間違いだと改めて実感しました。今回は広島県での土砂崩れだったけど、色々調べてみると岡山県も同じような地質であることを知りました。そうすると、岡山でも土砂崩れが起これ、大きな災害が発生してもおかしくないと思いました。

ぼくは、家族と話し合っって災害に備え、自分の身を守る意識をしっかりともちたいと思います。一人ではできないことでも、家族、地域の人々、小学校などで防災に取り組むことが出来たら、いざというときにとても役に立つと思いました。

また防災訓練があったら、参加してもっと勉強したいと思います。